

『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作成日： 2019年2月22日

事業所名： 運動療育クラブのあ

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	設備基準を満たしており、利用者の体格・性格・障がいの特性を考慮し、十分なスペースを確保しています。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	保育士・児童指導員・介護福祉士などの有資格者を配置しており、必要人数よりも多い職員を配置しています。 あい・さかいサポートリーダーを1名配置しています。
	③送迎体制・添乗員の確保	送迎は出来るだけ添乗員を確保し、走行中の運転手のサポート及び利用者の安全確保に努めています。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	一部のみ。視覚的支援に対する環境整備を増やしていけるよう努めていきます。
	⑤職員の健康診断の実施	年に1回全ての職員が健康診断を受けています。
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	半年に一度アンケートを実施し、利用児・保護者の意向等に沿えるよう検討し、改善に努めていきます。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	年に一度、大阪府が実施している虐待研修を受けており、そのスタッフから事業所スタッフへの研修も実施しています。 支援方法について職員間で定期的に話し合い、技術向上に努めています。 （障がい児通所支援事業者育成事業の利用はしていません。）
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	支援計画の見直しを6か月に1回以上行い、適切な手順で作成を行っています。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	利用児及び保護者様から当施設の満足度、支援計画の目標に対する達成度、当施設以外での様子を聞き取り、それを踏まえて計画の見直しを行っています。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	二週間に一度活動内容の変更、4週間に一度プログラムを変更し、様々な運動メニューを提供していますが、一人一人に個別のプログラムの用意はしておらず、その日参加された利用者様全員が同じメニューを行っています。

		す。そのメニューの中でそれぞれの課題に合わせた支援を行っています。
	④ミーティング等の実施	サービス提供前にミーティングを実施、支援方法についての確認を行っています。
	⑤支援内容の記録	ご利用ごとにその日の活動内容や様子、支援目標に対する達成度などを記録しています。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	可能な限り参加させていただいています。
	②認定子ども園・幼稚園・保育園、保健センター等との連携	送迎に行くお子様についてはその日の様子等のお話はさせて頂いています。 お子様に応じて保護者様や園などを交えてケース会議を行う等しています。
	③他の児童発達支援事業所、児童発達支援センター、障害福祉サービス事業所等との連携	サービス担当者会議の際に情報共有を行っていますが、全体的な連携はまだ少ないように感じるため、今後は積極的に連携を図れるよう相談支援事業所を通して連絡調整をしていきたいと考えています。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医等との連携・連絡体制	医療的ケアを必要とする利用者は現在のところ通所されていないです。 てんかんをお持ちの利用児については保護者様より発作時の症状及び対応方法を伺い、主治医やかかりつけの医療機関の確認を行っています。
	⑤就学する際の移行支援（学校との引継ぎ・情報共有等）	未就学から就学への移行を円滑にするために保護者様や先生との積極的な情報共有に努めます。
	⑥「あい・ふあいる」の活用	あい・ふあいるの活用は現在しておらず、事業所で作成したサポートブックを新年度毎に保護者様に記入して頂いてますが、乳幼児からの継続した記録ではないため、今後はあい・ふあいるの活用も視野に入れて検討していきます。
5 保護者への説明責任等	①運営規定、支援内容、利用者負担の説明	ご契約前に必ず見学・体験をして頂き、その際に事業内容の説明を行い納得して頂いた上でご契約させて頂いています。 ご契約時に運営規定、支援内容、自己負担費を含む利用者負担についてお話ししています。
	②保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	相談を受けた際には真摯に応えさせて頂いています。普段の事業所での活動の様子を振り返りながら助言させて頂いています。

	③会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	利用されている方のみが閲覧可能なブログにて発信しています。毎日の活動の様子と、活動の写真を二週間に一度掲載しています。
	④日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	毎回保護者様に活動メニューの写真を見て頂きながらお伝えし、その日の心身の様子についても変わったことがあればお話しさせて頂いています。
	⑤おやつ代等実費徴収している費用にかかる領収書の発行、精算報告	精算報告は年に一回、12カ月分を記載したおやつ代收支報告書を配布しています。
	⑥身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	ご契約の際に身体拘束時の記録の義務と報告を保護者様に説明しています。
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、事故対応マニュアルの整備と職員への周知	施設内にマニュアルを常備し、いつでも閲覧できる状態にしています。 実際に非常事態が起きた時に対応できるようデモンストラーションを定期的に行っていきたいと考えています。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	月に一度避難訓練（地震・火災・水害）と定期的に消防署による立ち合い訓練を実施しています。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	ヒヤリハットや事故報告書を作成しなければならない出来事が起こった場合は、必ず代表に報告し、全体ミーティングで報告しています。 再発防止のための改善策も併せて報告し全職員に周知しています。
7 その他	①地域との交流	地域との交流は少ないですが、法人行事を行い、事業所間の交流はできております。 今後地域との交流を深めるためにイベント等を開催できるよう検討していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成31年4月1日

事業所名 運動療育クラブのあ 返却率 65.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90.6%	6.2%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもであれば十分活動が可能なスペースが確保されている ・欲を言えば言えばきりがないが、今の状態の中で最上の所にもいつも配慮して頂いていると思います ・もう少し広くてもいいと思います ※無回答1含む
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	90.6%	3.1%	0	6.2%	
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境iになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適正になされているか	90.6%	9.3%	0	0	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90.6%	3.1%	0	6.2%	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	100%	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと話を聞いてもらってしてもらえと思っています ・ヒアリングによる行動計画が策定され定期的に説明を受けている為安心感がある ・当初の願いどおり「のあでできる」と本人が思えるようになっていて成長のための自信がついてきていると感じます
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	81.2%	6.2%	0	9.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の苦手な部分をよく理解して下さっています。できる部分はのぼせるよう支援して下さっているので本人もわかりやすいと思います ・家族支援などこういった事をすればいいかの説明があればしてほしい ※無回答1含む
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90.6%	6.2%	0	0	※無回答1含む
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないように工夫されているか	87.5%	6.2%	0	3.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成すれば新たに目標を設定し柔軟な対応か提案を頂いている ・毎月、子どもが楽しめる内容でとて

							も充実していると思います ・色々工夫して下さっています ※無回答1含む
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子と活動する機会があるか	28.1%	3.1%	18.7%	46.8%	・交流とはどういった事ができるのか知りたい ・併行通園なので、のあにこれは求めています ※無回答1含む
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	93.7%	6.2%	0	0	・計画の立て直し毎にしっかりお話しして下さっているの、説明や連絡に不安という事は今までありません
	⑪	児童発達支援がいいラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%	0	0	0	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われているか	34.3%	12.5%	15.6%	34.3%	・子供への最良な対応が分かると思う ・計画案のお話の中で日常どうしてるかいいと思っていた事もあるが、トレーニングというわけでもないかも ※無回答1含む
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	93.7%	3.1%	3.1%	0	・毎回、その日の課題内容や子供の様子をとても丁寧に伝えて頂けているので安心しています
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	65.6%	12.5%	6.2%	15.6%	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	18.7%	18.7%	31.2%	31.2%	・参観などはあるが、保護者同士のつながりはあんまりないと思う (・通学範囲が広すぎる・送迎だけで手一杯・子供の事を話すなら本児のいない場も必要だと思うがそれは用意されにくいと思う)
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	75.0%	6.2%	0%	18.7%	・通う時に本当にここでいいのか悩んだことがあったが、先生の説明が丁寧でよかった。こちらの相談もしっかり聞いてくれている ・相談や申し入れは特にしていないが、適切な対応をして頂けていると感じる
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93.7%	0	3.1%	3.1%	
	⑱	定期的に会報やホームページ等にて、活	78.1%	3.1%	0	18.7%	・HPを見ていない

		動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか					
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	96.8%	3.1%			
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	50.0%	6.2%	3.1%	40.6%	・発生を想定した訓練が行われているかまでは分からない ・マニュアルも訓練もされているのかもしれませんが、その都度報告はないので不明です
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているか	34.3%	6.2%	6.2%	50.0%	※無回答1含む
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	93.7%	3.1%	3.1%	0	・予定が予め決まっていれば大丈夫ですが、急に入る時は本人が嫌がる事がある ・タブレット OK ・毎回とても楽しみにしています
	㉓	事業所の支援に満足しているか	93.7%	6.2%	0	0	・周りを見る力、気持ちを伝えようとする気持ちが出てきているように感じます。本人もとても楽しんで通っています ・児童が増えて希望日数は入れない事があるので、急なお休みが出た時等はメールやライン等で連絡できるとなおいいなと思います（電話はとれないことがあるので） ・大満足です ・いつもありがたく思っています ・支援は満足だが送迎がしにくい。車が安心して止められない ・送迎場所が遠いので、雨の日に自転車に乗るのが大変です。もう少し自宅から近い所の送迎を宜しくお願いします

小数点第2位以下切り捨て*

(注釈)

- i 「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常性買う全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事です。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方などを学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日： 2019年2月22日

事業所名： 運動療育クラブのあ

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	設備基準を満たしており、利用者の体格・性格・障がいの特性を考慮し、十分なスペースを確保しています。
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	保育士・児童指導員・介護福祉士などの有資格者を配置しており、必要人数よりも多い職員を配置しています。 あい・さかいサポートリーダーを1名配置しています。
	③送迎体制・添乗員の確保	送迎は出来るだけ添乗員を確保し、走行中の運転手のサポート及び利用者の安全確保に努めています。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	一部のみ。視覚的支援に対する環境整備を増やしていけるよう努めていきます。
	⑤職員の健康診断の実施	年に1回全ての職員が健康診断を受けています。
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	半年に一度アンケートを実施し、利用児・保護者の意向等に沿えるよう検討し、改善に努めていきます。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	年に一度、大阪府が実施している虐待研修を受けており、そのスタッフから事業所スタッフへの研修も実施しています。 支援方法について職員間で定期的に話し合い、技術向上に努めています。 （障がい児通所支援事業者育成事業の利用はしていません。）
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	支援計画の見直しを6か月に1回以上行い、適切な手順で作成を行っています。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	利用児及び保護者様から当施設の満足度、支援計画の目標に対する達成度、当施設以外での様子を聞き取り、それを踏まえて計画の見直しを行っています。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	二週間に一度活動内容の変更、4週間に一度プログラムを変更し、様々な運動メニューを提供していますが、一人一人に個別のプログラムの用意はしておらず、その日参加された利用者様全員が同じメニューを行っています。

		す。そのメニューの中でそれぞれの課題に合わせた支援を行っています。
	④ミーティング等の実施	サービス提供前にミーティングを実施、支援方法についての確認を行っています。
	⑤支援内容の記録	ご利用ごとにその日の活動内容や様子、支援目標に対する達成度などを記録しています。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	可能な限り参加させていただいています。
	②学校との連携	送迎に行くお子様についてはその日の様子等のお話はさせて頂いています。 お子様に応じて保護者様や学校を交えてケース会議を行う等しています。
	③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携	サービス担当者会議の際に情報共有を行っていますが、全体的な連携はまだ少ないように感じるため、今後は積極的に連携を図れるよう相談支援事業所を通して連絡調整をしていきたいと考えています。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医等との連携・連絡体制	医療的ケアを必要とする利用者は現在のところ通所されていないです。 てんかんをお持ちの利用児については保護者様より発作時の症状及び対応方法を伺い、主治医やかかりつけの医療機関の確認を行っています。
	⑤学校を卒業する際の就労移行支援（引継ぎ等）、就学前施設との連携（情報共有・引継ぎ等）	小学生までのお子様を対象にしているため就労に向けた引継ぎ等の移行支援については行っていません。 未就学から就学への移行を円滑にするために保護者様や先生との積極的な情報共有に努めます。
	⑥「あい・ふあいる」の活用	あい・ふあいるの活用は現在しておらず、事業所で作成したサポートブックを新年度毎に保護者様に記入して頂いてますが、乳幼児からの継続した記録ではないため、今後はあい・ふあいるの活用も視野に入れて検討していきます。
5 保護者への説明責任等	①運営規定、支援内容、利用者負担の説明	ご契約前に必ず見学・体験をして頂き、その際に事業内容の説明を行い納得して頂いた上でご契約させて頂いています。 ご契約時に運営規定、支援内容、自己負担費を含む利用者負担についてお話ししています。
	②保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	相談を受けた際には真摯に応えさせて頂いています。普段の事業所での活動の様子を振り返りながら助言させて頂いています。

	③会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	利用されている方のみが閲覧可能なブログにて発信しています。毎日の活動の様子と、活動の写真を二週間に一度掲載しています。
	④日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	毎回保護者様に活動メニューの写真を見て頂きながらお伝えし、その日の心身の様子についても変わったことがあればお話しさせて頂いています。
	⑤おやつ代等実費徴収している費用にかかる領収書の発行、精算報告	精算報告は年に一回、12カ月分を記載したおやつ代收支報告書を配布しています。
	⑥身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	ご契約の際に身体拘束時の記録の義務と報告を保護者様に説明しています。
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、事故対応マニュアルの整備と職員への周知	施設内にマニュアルを常備し、いつでも閲覧できる状態にしています。 実際に非常事態が起きた時に対応できるようデモンストラーションを定期的に行っていきたいと考えています。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	月に一度避難訓練（地震・火災・水害）と定期的に消防署による立ち合い訓練を実施しています。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	ヒヤリハットや事故報告書を作成しなければならない出来事が起こった場合は、必ず代表に報告し、全体ミーティングで報告しています。 再発防止のための改善策も併せて報告し全職員に周知しています。
7 その他	①地域との交流	地域との交流は少ないですが、法人行事を行い、事業所間の交流はできております。 今後地域との交流を深めるためにイベント等を開催できるよう検討していきます。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 4 月 1 日

事業所名 運動療育クラブのあ 返却率 64.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84.7%	11.4%	0	3.1%	・限られたスペースを有効に使う工夫がされています
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	75.0%	3.1%	0	21.8%	・そう感じます ・正直専門性に関しては知識はまだまだかなと感じる点が多いのでスキルアップを目指してほしいです
	③ 生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境 i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適正になされているか	90.6%	0	0	9.3%	・お手本してもらえることで理解が出来ますし、細かな配慮がなされています ・我が子には十分ですが他の子どもについてはわからない
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	81.2%	9.3%	0	9.3%	・常に整理整頓されていて気持ちよく活動が来ています ・冬場など特に気になるので床拭きや消毒（子どもたちも）きちんと行い安心して利用できる環境を望みます
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか	90.6%	3.1%	0	3.1%	・本人にとって今習得すべき事に気付いてもらえ行き届いた計画を立ててもらっています ※無回答 1 含む
	⑥ 児童発達支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	84.3%	6.2%	0	9.3%	・そうされていると思います
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	87.5%	6.2%	0	6.2%	・行われています
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないように工夫されているか	90.6%	0	0	3.1%	・たくさんの工夫をしてもらっています
	⑨ 小学校・中学校等との交流や、障がいのない子と活動する機会があるか	0	3.1%	37.5%	59.3%	・必要性を感じません ・この点は全く交流がないので今後ご検討いただきたいです
保護	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90.6%	0	0	9.3%	・丁寧な説明がありました

	⑪	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等 デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支 援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援 計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	87.5%	3.1%	0	6.2%	・保護者に対する説明は完璧で、支援 内容から「その通りだな」と考える事 がおおくあり、さすがだと感心します ※無回答1含む
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン ト・トレーニングiv等）が行われているか	28.1%	12.5%	31.2%	28.1%	・良いところを褒めてもらい声掛け など学ぶ所が多いです ・この点に関しても保護者向けに研 修等で取り入れてほしいです
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの健康や発達の状況、課 題について共通理解ができているか	93.7%	6.2%	0	0	・完璧だと思います
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育 児に関する助言等の支援が行われてい るか	62.5%	25.0%	9.3%	3.1%	・月1回程度の参加なので面談や保護 者会の情報に疎いのだと思います ・都度、応じてもらえます ・⑤⑥⑦⑩にも言えますが、支援計画 作成の面談は送迎時ではなくきちん と時間を取って頂きたいです。交流会 も望んでいます
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等 により保護者同士の連携が支援されているか	12.5%	18.7%	34.3%	34.3%	・保護者同士の繋がりを無理に広め ると煩わしいことになることがある
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れ について、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に周知・ 説明され、相談や申し入れをした際に迅 速かつ適切に対応されているか	71.8%	15.6%	0	12.5%	・いつも学校生活で困り事があると 相談させて頂いています。適切なアド バイスと親目線でお話して下さるの で正直学校の先生よりも信頼してし まっている。とても助かっています ・どのスタッフさんにもそのように してもらえます ・スタッフ間で連携がとれていない と感じる事があります
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮がなされているか	87.5%	0	3.1%	9.3%	・そう感じます
	⑱	定期的に会報やホームページ等にて、 活動概要や行事予定、連絡体制等の情 報や業務に関する自己評価の結果を子 どもや保護者に対して発信されている か	56.2%	12.5%	0	31.2%	・詳しく掲載されていると思います ・HPが長らく更新されていない状態 で現在の様子が分かりません
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されてい るか	81.2%	0	3.1%	15.6%	・完璧です
非常時 等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニユアル、 感染症対応マニュアル等を策定し、 保護者に周知・説明されているか。また、 発生を想定した訓練が実施されて いるか	28.1%	9.3%	6.2%	56.2%	・説明してもらいました

	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているか	12.5%	12.5%	9.3%	65.6%	・間違いなく訓練をしているイメージしかありません（信頼からくる心象） ・年2回行わないといけないのでその週はプログラム内容を変更してみてもどうか
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	84.3%	12.5%	3.1%	0	・本人もとても喜んで行くので利用日数がなかなか空きがない為残念です ・最近行くのを嫌がるようになりました ・唯一の場所です
	㉓	事業所の支援に満足しているか	93.7%	3.1%	3.1%	0	・感謝しています

小数点第2位以下切り捨て※

(注釈)

- i 「本人に分かりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人に分かりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常性買う全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画の事です。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動の事です。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方などを学ぶ事により、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

※パーセンテージは小数第2位で切り捨てしています。